

## トリガイ稚貝の配付を行いました

海洋センターでは、京のブランド産品「丹後とり貝」育成用の種苗（稚貝）の生産及び府内育成漁業者への配付を行っています。今年は、5月上旬から種苗生産を開始し、海面施設で中間育成※した後に、6月30日から7月13日にかけて、殻長約10 mmの稚貝54.8万個を配付しました。トリガイ稚貝は例年7月上旬頃から配付していますが、今年は早めに作業を開始したいという漁業者からの要望もあり、職員総出で1日あたり最大14.5万個の種苗を配付しました。

7月以降猛暑が続いており、府内の育成漁場の水温は例年に比べて非常に高くなっています。高水温によるへい死を防止するためには、育成コンテナのこまめな掃除・交換や水温の低い水深への移動など育成環境を良好に保つ事が重要であるため、今後、水温情報の発信や漁業者への指導を実施していきます。

※ 中間育成：室内の水槽で飼育された稚貝を、より自然環境に近い屋外の施設に移して、漁業者が育成を始めることができるサイズまで育てること。



トリガイ稚貝



稚貝はタマネギ袋に入れて配付（100個／袋）